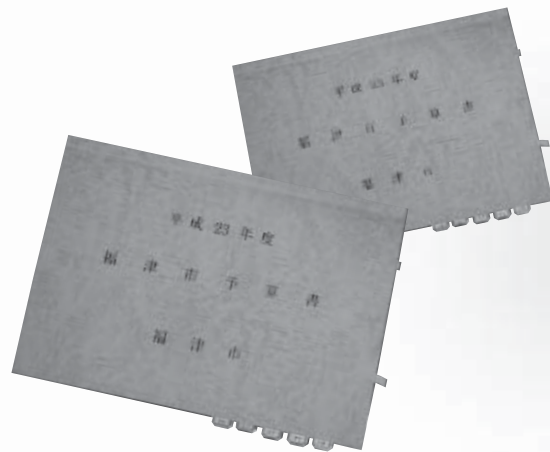


平成23年度

予算と事業



平成23年度当初予算の編成に当たりましては、市政運営の指針である「総合計画」や「行財政改革大綱」および「中期財政見通し」に基づき、引き続き計画的な予算措置と持続可能な財政運営の確保を目指しました。特に、本市の将来像である「人を、明日を、誇るまち。福津。」の実現に向けては、市民のニーズに即した施策を配し、特色のある予算の編成に努めました。

特色としては、これまで重点的に取り組んできた自然・環境の分野では、松林の保全と再生を図るために、松くい虫防除事業に対しては引き続き予算を確保するとともに、海洋環境の保全の分野においては、良好な漁場となる藻場を再生するために新たに鉄鋼スラグ投入事業を試験的に導入することとしました。教育の分野では、神興小学校に通級指導教室を設置し、言語、コミュニケーションなどの発達に課題のある児童に対し、より専門的な個別指導を可能とするとともに、福岡駅東

できた自然や環境、交通、生活・都市基盤整備といった分野に加え、子育てや教育といった部門においても新たな事業を創出し、より先駆的な事業にも着手することとしました。子育ての分野では、子育て支援の拠点となる「こどもの城」整備事業の工事に着手するとともに、放課後児童の健全育成に資する学童保育所を増設することとしました。また、乳幼児医療費助成事業の対象を小学校3年生までに拡大したり、ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンへの助成を開始するなど、子育てのしやすいまちづくりを目指すことにしています。

自然・環境の分野では、松林の保全と再生を図るために、松くい虫防除事業に対しては引き続き予算を確保するとともに、海洋環境の保全の分野においては、良好な漁場となる藻場を再生するために新たに鉄鋼スラグ投入事業を試験的に導入することとしました。教育の分野では、神興小学校に通級指導教室を設置し、言語、コミュニケーションなどの発達に課題のある児童に対し、より専門的な個別指導を可能とするとともに、福岡駅東

地区の新しい街並みにふさわしい魅力的な学校となるよう福岡南小学校のリニューアルに向けた実施設計費を計上し、併せて同校に太陽光発電設備を設置することとしました。このように、今年度は、子育て支援や自然・環境保全、教育など、福津市の新たな魅力を発信するための事業を積極的に展開していくとともに、公共下水道、都市計画道路など、生活・都市基盤の整備につきましても、引き続き推進していくこととしております。なお、かねてより懸案事項でもあります庁舎統合を含む公共施設有効活用課題につきましても、本年1月に実施した住民意向調査の結果を基に、改めて検討することにしております。

福津市長 小山 達生

予算の基礎知識 Q&A

Q1 予算とは何ですか？

予算とは、ある期間の歳入（入ってくるお金）と歳出（使うお金）の見積もりを立てることです。

市では、新しい年度が始まる前に、その1年間（4月から翌年の3月まで）で、どのくらいの収入があるのか。そして、この1年間の行政サービスをどのように行うのか計画し、その費用を見積もります。市の予算書には、これからの1年間のお金の使い道が記されています。

Q2 どうやって市の予算を決めるの？

市長が予算案を作ります。そして、議会の審議と議決によって成立します。

市役所の各部署は、市政運営の指針である「総合計画」や「行財政改革大綱」、「中期財政見通し」に基づき、向こう1年間の行政サービスを検討

Q3 予算は何のために必要なのですか？

行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。今後、1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会の議決を得ることによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールすることができ、そのために予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長はその責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の

Q4 一度決めた予算は、変えることはできないの？

変えることがあります。補正予算といいます。

議会で決定した予算を使っている途中で、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害が発生した際の復旧などに急にお金を使わなければならない

Q5 予算を使った後は？

その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそれのお金の使い道が予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果を表しています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後、補正予算で見積もった収入と支出の結果（入ってきたお金と使ったお金）が決算です。決算書は会計管理者が作り、監査委員の意見書を付した上で市長が議会の認定を受けることになります。

平成23年度

予算総額

一般会計予算は、189億7,700万7千円で、前年度に比べ4.9%の減となっています。予算編成に当たっては、本市の将来像である「人を、明日を、誇るまち。福津。」の実現に向けて、特色ある予算づくりを行いました。

予算の内訳

一般会計	189億7,700万7千円(4.9%減)
特別会計	139億6,225万9千円(8.2%増)

計	329億3,926万6千円
---	---------------

◆一般会計は6年ぶりの減額

グラフ1

◆一般会計歳入

グラフ2

歳入は、税金などの「自主財源」と国や県補助金などの「依存財源」に分けられます。「自主財源」が多いほど、市独自の住民サービスの提供や将来へ向けての積立ができ、行政活動の自主性、安定性が確保できます。

一般会計歳入のうち自主財源である市税は前年度比9018万8千円、18%の減を見込んでいます。今般の景気低迷を反映して、個人市民税が前年度比8474万2千円、35%の減、固定資産税が、事業者の設備投資に係る償却資産の減などにより前年度比390万1千円、0.2%の減となったことなどが挙げられます。全体として、自主財源比率は36.8%となり、市の財政基盤は厳しいものといえます。

依存財源のうち地方交付税は、前年度に比べ8億2900万円増の51億6900万円、19.1%の増を見込んでいます。国庫支出金は子ども手当に係る負担金や古墳公園建設に係る補助金が増ったことなどにより2億7727万7千円、12.8%の増を見込んでいます。県支出金については、前年度計上の駅東地区保育所整備に係る補助金が減額となったことなどが

ら1億4201万7千円、12.0%減を見込んでいます。

◆一般会計歳出

グラフ3

グラフ4

一般会計歳出については、総合計画に掲げられている分野別目標像に沿って6ページから主な内容を紹介します。

◆特別会計は約10億円の増

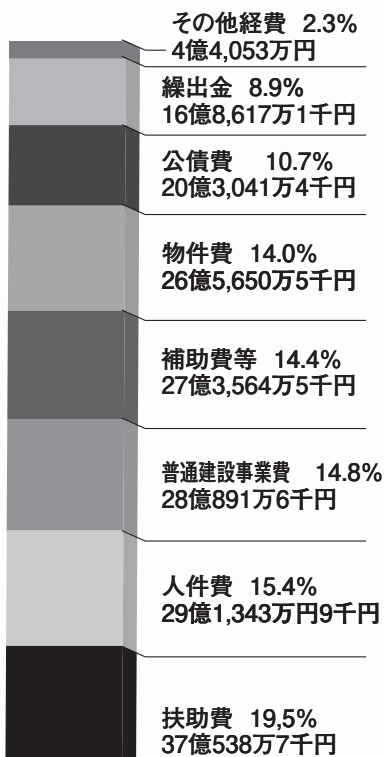
表A

市の会計には、一般会計のほか6つの特別会計があります。特別会計とは特定の事業を行うため、一般の歳入歳出予算と区別して整理する必要がある場合に設置するものです。当市の特別会計の予算額は表Aの通りです。特別会計の合計は前年度比10億5688万5千円、82%の増となりました。これは、国民健康保険事業において医療費の増加に伴い、前年度比2億4977万1千円、43%の増となったことや、公共下水道事業においても、津屋崎浄化センターの増設工事などを予定していることから、前年度比6億9934万2千円、24.0%の増となったことなどが挙げられます。

なお、今年度から後期高齢者医療事業への移行完了により老人保健特別会計が、また、介護保険事業において、地域包括支援センターの外部委託に伴い、介護サービス事業勘定がなくなりました。

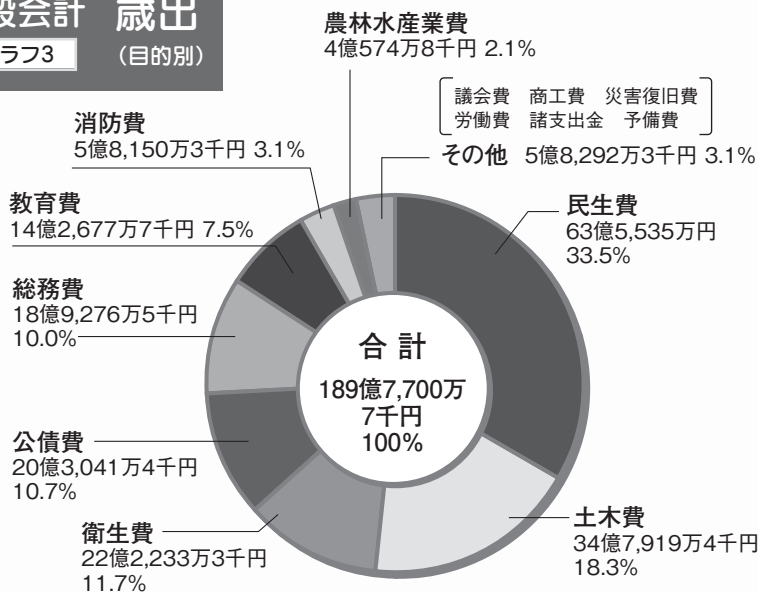
一般会計 歳出

グラフ4 (性質別)



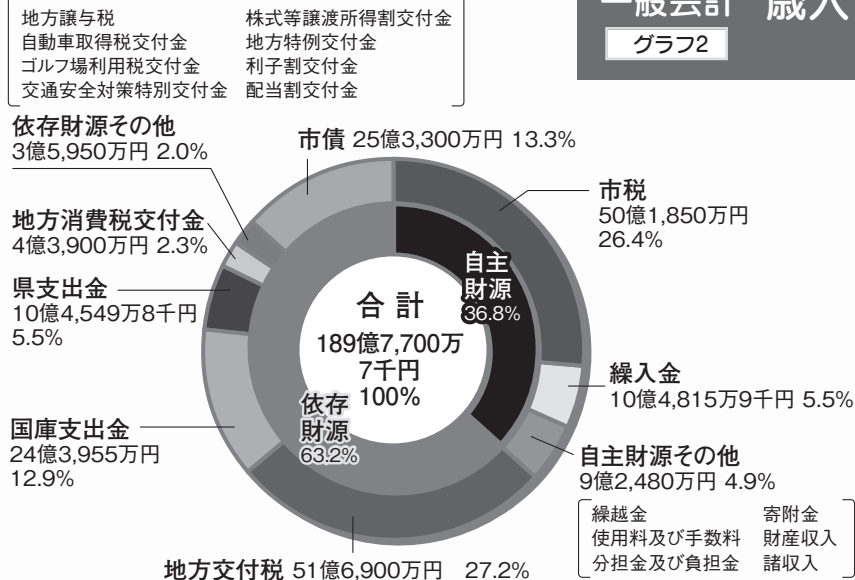
一般会計 歳出

グラフ3 (目的別)



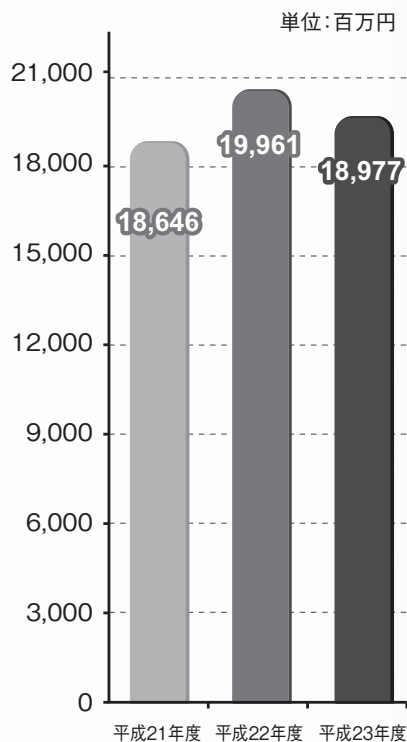
一般会計 歳入

グラフ2



一般会計 予算規模の推移

グラフ1



特別会計

表A

区 分	本年度当初予算額 単位:千円	前年度当初予算額 単位:千円	増減額 単位:千円	増減率 単位:%
国民健康保険事業特別会計	6,023,232	5,773,461	249,771	4.3
老人保健特別会計	—	4,128	皆減	皆減
後期高齢者医療事業特別会計	746,381	795,944	△ 49,563	△ 6.2
介護保険事業特別会計(旧保険事業勘定)	3,475,955	3,323,022	152,933	4.6
介護保険事業特別会計(旧サービス事業勘定)	—	1,308	皆減	皆減
公共下水道事業特別会計	3,618,287	2,918,945	699,342	24.0
地域し尿処理施設事業特別会計	81,898	70,895	11,003	15.5
住宅新築資金等貸付事業特別会計	16,506	17,671	△ 1,165	△ 6.6
合 計	13,962,259	12,905,374	1,056,885	8.2

平成23年度 主要事業紹介

行政経営へと変革する

コンビニ収納導入

704万5千円

平成24年度から、店舗数が多く24時間営業しているコンビニエンスストアで市県民税・固定資産税・軽自動車税を納税できるようにシステムを構築し利便性を向上させます。

収納強化(539万4千円)

納期を過ぎた納税者には、督促状の送付を行い、それでも納付しない納税者には催告書を送付します。その後は、法に定められた滞納処分を行い、市税の確保を行います。

行政観光情報ステーション管理運営

1197万4千円

JR福岡駅の整備に合わせ、通勤・通学の利用者に行政サービス(諸証明発行、申請取り次ぎ、図書返却など)、観光客に観光情報サービスを提供する窓口を設置しています。また、併設するギャラリーでは、作品展示や観光・イベント情報の発信なども行い、駅利用者に憩いやくつろぎを与えられるようにします。

こども司書養成(94万9千円)

市内小学校4年生から6年生を対象に講座受講者を募集します。講座を実施し、図書司書の仕事を体験してもらい、学校やクラス、子ども会などさまざまな場所で読書を推進してもらいます。

通級指導教室整備(285万円)

通常学級に在籍している児童の中で、ことば・行動コミュニケーション・学習などで困っている児童に対し、児童の課題に応じた指導をするため、神興小学校に通級指導教室を開設します。

みんなが安全に、安心して暮らせるまち

住宅耐震改修工事補助(600万円)

平成22年度に策定した「福津市耐震改修促進計画」に基づき、戸建て木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断を実施し、基準に満たない建物を基準を満たすよう工事を実施した場合に補助金を交付します。

予防接種(子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン)(4736万3千円)

現在、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」について、対象年齢層に接種補助をすることで、感染症を予防します。

行政経営推進(157万5千円)

市が行った事業を振り返り、点検・評価します。

評価結果を次年度の予算編成や実施計画の策定などに反映していくために行政経営を確立します。また行政経営推進に必要な知識や技術を得るためのファシリテーション養成・フォロー研修を行います。

みんなの力で地域自治をすすめるまち(1861万6千円)

地域自治を進めるため、地域駐在職員を配置したり、郷づくり推進協議会に運営資金・活動資金となる交付金を交付したりします。

自治会(区)支援(1億2555万円)

従来の行政区への補助金などを統合して、各自治会(区)に交付します。自治会活動の活性化と地域住民の交流の推進を目的として交付します。

古墳公園史跡等購入

1億228万1千円

国指定史跡津屋崎古墳群の適正な保存管理と古墳公園としての活用を図るために、国・県の補助を受けながら順次公有化を進めます。

第一分団格納庫整備

2440万7千円

第一分団消防格納庫兼詰所は、手狭で老朽化している上、夜警などによる詰所持機時に必要な団員車両の駐車スペースがありません。

このため、駐車スペースが確保できる津屋崎庁舎敷地内に在る同分団第2小隊格納庫横に新規に整備します。

福岡駅東地区防火水槽整備

2205万円

現在開発が進められている福岡駅東地区に、火災などから市民の生命と財産を守るため、60t級の耐震性防火水槽を5基整備します。

平成23年度は、駅東公園整備事業に合わせて3基を整備し、翌平成24年度に残り2基を整備します。

自然を大切にしたい美しいまち

松くい虫防除(5600万5千円)

農作物被害防止のための松くい虫防除事業です。

防風保安林内の薬剤散布、伐倒駆除、樹幹注入、除伐、松苗購入を行います。

竹尾地区緑地保全(4850万円)

国道3号沿線にある市としては数少ない里山で、希少生物が生息する竹尾地区を自然のまま保全します。

世界遺産登録活動

1513万8千円

福岡県・宗像市と共同で「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を目指しています。このための提案書の作成に向けて、その裏付け資料として、類似資産との比較研究・構成資産などの調査研究・価値検証のための国際会議や沖ノ島・津屋崎古墳群などをPRするための国際シンポジウムを行います。また、世界遺産登録活動をPRするための目標や案内板などのサイン整備を行います。

ふくつ自然塾整備(860万8千円)

福岡市の特色は豊かな自然環境にあります。この自然や観光資源を活かしての体験学習や農漁業を活かしての農漁業体験など、宿泊型交流事業をテスト的に実施し、自然塾のプログラムや在り方、運営方法などを検討します。また、自然環境以外の部分においても、例えば『街中暮らし体験』などが自然塾の資源として成り立つかなども試験的に実施して検証します。実施にあたり、今年度は自然塾事業関連団体などとの円滑な事業推進および集中的な実施を目的として非常勤の推進員を配置します。

住宅用新エネルギー設備等設置補助金(400万円)

新エネルギーの利用を促進するため、市民を対象として住宅用太陽光発電システムおよび家庭用燃料電池(エネファーム)の設置費を助成します。

コミュニティサイクル(600万円)

観光客のアップ、地域の活性化のため、また身近な交通手段の提案として環境にやさしいレンタサイクルの社会実験をJR福岡駅駐輪場と津屋崎千軒なごみをステーションとして行います。

西郷川リバー스集いの駅整備

1億2500万円

上西郷川の西郷川合流地点に調整池と一体化した親水公園「集いの駅」を整備します。

西郷川リバーズ自然あふれる川づくり

1億1242万2千円

上西郷川の一部区間(西郷川との合流地点から国道3号下までの間)を、治水安全度の高い自然豊かな美しい川に整備します。

みんなにやさしく、快適で住みよいまち

宮司地区市道整備(1億5630万8千円)

宮司地区の店舗や共同住宅、戸建住宅などが混在する区域の居住環境を改善するため、域内生活道路の改良を行います。

子どもが夢を持ち、健やかに育つまち

こどもの城整備

1億3318万3千円

子育てを支援する施設「こどもの城」として平成23年度・平成24年度(2カ年)でふくとびあ「いきいき交流館」の増改築工事を実施します。

小学校施設大規模改造

3715万2千円

福岡南小学校の校舎・体育館などの大規模改修や運動場の芝生化を行い教育環境の充実を図るための設計を行います。また校舎の屋上に太陽電池を設置し、発電した電力を活用する事により、化石燃料の消費や環境負荷の軽減を図るとともに、環境教育の教材として活用できるようにします。

また、福岡小学校の老朽化したプールの改修に伴い、工事監理業務を行います。

乳幼児医療費支給(市単独分)

4154万3千円

今年度からさらに対象を拡大しました。従来は、所得判定非該当の就学前児童を対象としていましたが、小学1〜3年生についても対象としました。外来診療・入院における児童を対象とした医療費の自己負担を助成する事業です。

駅東土地区画整理地区内公園整備

3900万円

福岡駅東土地区画整理事業地区内の公園を順次整備します。区域内に12公園を整備予定です。

原町津丸線有弥の里五差路整備

2410万円

有弥の里入り口にある五差路の交差点を四差路に改良し、安全で快適な通行を実現するために道路改良を実施します。

JR福岡駅東口駐輪場整備

3億3205万2千円

公共交通機関の利用が円滑にでき、利用者が安心して預けることができる駐輪場を整備します。

松原上西郷線整備

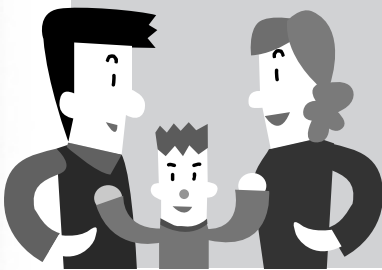
2億8700万円

マルシェの裏から西郷川を橋で横断し、JR鹿兒島本線を立体交差(アンダーパス)、福岡駅東土地区画整理事業と併せて国道3号と国道495号とを結ぶための道路を都市機構(UR)の直接施行により整備します。

福岡駅東PRプロジェクト

1052万2千円

福岡駅東土地区画整理事業で新たにできるまちの定住化促進および、福津市、地区愛称明日花の認知度向上のためイベントや各種のPR事業を行います。



家計に例えると…

億単位の予算の話は想像しにくいものです。そこで、より予算額についてイメージしやすいよう、市の予算を「食費」や「医療費」など身近なものに置き換え、仮に年収300万円だった場合の家計簿にしてみました。

平成23年度予算 189億7,700万7千円を300万円に置き換えて算出(単位:円)

収入の部	
項目 ※()内は市の歳入予算科目	金額 ※()内は1カ月当たりの額
給与収入 (市税)	793,355 (66,113)
家賃収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	85,698 (7,141)
銀行などからの借入金 (市債)	400,432 (33,369)
預金の引き出し (繰入金)	165,699 (13,808)
預金の利子 (利子割交付金、配当割交付金)	3,162 (264)
実家からの援助金 (地方交付税などの依存財源)	1,491,154 (124,263)
土地の売却など (財産収入)	7,222 (602)
前年度の残金 (繰越金)	26,558 (2,213)
雑収入 (諸収入、寄附金)	26,720 (2,227)
合計	3,000,000 (250,000)

貯金の部	
項目 ※()内は市の基金科目	金額 ※()内は市の基金残額
貯金 (財政調整基金、減債基金、教育施設建設準備基金、まちづくり基金、ふるさとづくり基金)	1,519,680 (96億1,299万2千円)

支出の部	
項目 ※()内は市の歳出予算科目	金額 ※()内は1カ月当たりの額
食費 (人件費)	460,574 (38,381)
医療費、教育費など (扶助費)	585,770 (48,814)
ローン返済 (公債費)	320,980 (26,748)
光熱水費、電話料金、物品購入など (物件費)	419,956 (34,996)
家の維持補修 (維持補修費、災害復旧費)	21,018 (1,752)
友人への援助金など (補助費等、投資及び出資金、貸付金)	466,061 (38,839)
家の増改築など (普通建設事業費)	444,050 (37,004)
貯金 (積立金)	6,470 (539)
家族への仕送り (繰出金)	266,560 (22,213)
雑費 (予備費)	8,561 (714)
合計	3,000,000 (250,000)

借金の部	
項目 ※()内は市の地方債科目	金額 ※()内は市の地方債残高
借金 (合併特例債、臨時財政対策債など)	3,043,665 (192億5,321万6千円)

地域産業を支え、育むまち

まちおこしセンター管理運営
〔1112万7千円〕
まちおこしセンターの管理運営に掛かる費用です。

中小企業融資制度〔3500万円〕
1事業者500万円を限度として事業資金を融資する市独自の制度です。福岡県の同様の制度に比べ、利率を0.1%低く設定しています。

農業用施設整備〔4251万5千円〕
改修要望が出されている農道や水路について整備します。

水産基盤整備〔500万円〕
鉄鋼スラグの投入による藻場再生事業。
磯やけ被害にあった藻場への鉄鋼スラグ投入による藻場再生を目指します。

許斐山駐車場整備〔428万7千円〕
交通事故や犯罪などの防止のため、登山道入口付近の県道沿いに駐車場を新たに設けます。
許斐山登山を誰もが安全に安心して楽しむことができる環境を整備します。

観光産業活性化推進
〔200万円〕

観光産業の活性化を進めるため、市内団体や有識者により組織されるふくつ観光産業活性化協議会が行う観光産業活性化推進事業を助成します。

福津ブランドを生み育て、発信するまち

福津ブランド推進
〔686万円〕

市の認知度・知名度の向上、人口減少、自治体間競争の激化、競争力の強化などの課題を克服するため福津ブランド戦略事業として統一的な地域ブランド化に取り組みます。地域ブランド化には情報発信が重要なので、ポスターやマスメディア、キャラクターなどを活用して効果的に情報発信します。

国際交流〔39万8千円〕
10年を超える期間にわたり、1年に1度定期的に福津市を訪れ、市長を表敬訪問している韓国慶州市の民間交流団体を、温かく迎え、親善文化交流するなどし、相互理解を深めます。

福津市の貯金と借金

市には一般に支出するお金とは別に、不測の事態に備えたり、特定の事業を行ったりするために蓄えた基金というものがあります。一般家庭で言えば貯金となるものです。

また、市がいろいろな事業を行う上で、銀行などからお金を借りて事業を実施することがあります。これは一般家庭で言えば家を買うために住宅ローンを組むことに例えることができます。

では、今現在、市にどれだけの貯金と借金があるのでしょうか。一般会計で見た基金と市債残高の推移をグラフで表してみました。

市債の新規借入れについては今後、大規模事業が完了するため減りますが、それまでに借り入れした合併特例債や臨時財政対策債などの市債の償還が毎年増加することから、地方債残高も平成26年度までの間は、ほぼ右肩上がりが増加する見込みです。

基金については、平成22年度に市債の繰上償還に伴い、市債の返済に充てる減債基金を約3億9800万円取り崩しましたが、平成23年度以降は実施計画事業を推進するために、主に教育施設建設関連に充てる教育施設建設準備基金とまちづくり全般に充てるまちづくり基金を取り崩す予定で、全体でも徐々に減少していく予定です。

